



日本ホスピス緩和ケア協会

NEWS LETTER ニューズレター

Hospice Palliative Care Japan

No. **35**
20.January.2016

日本ホスピス緩和ケア協会事務局
〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
ピースハウスホスピス教育研究所内
TEL 0465-80-1381 FAX 0465-80-1382
Website <http://www.hpcj.org/> E-mail info@hpcj.org

新春メッセージ

日本ホスピス緩和ケア協会会員の皆さんへ

専門緩和ケアの確立をめざそう



特定非営利活動法人
日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 志真 泰夫

明けましておめでとうございます。2016年の新春を迎えて理事会を代表して、会員の皆さんへのメッセージを送ります。

質向上の取り組みに関する認証が始まります

当協会の使命のひとつ、「ホスピス・緩和ケア病棟の質の評価と向上」の具体化として、鋭意取り組んできた「質向上の取り組みに関する認証」への申請が本年11月からいよいよ開始となります。この認証制度の目的は、ケアの内容等を社会に広く明らかにして（公開）、自らを律してケアの質を向上させ（自律）、遺族や第三者からの評価を素直に受け止める（謙虚）、そういう文化をわが国のホスピス・緩和ケア病棟に作り出すことです。認証委員会の準備は山場を越えて最終段階です。ニューズレターとともに認証制度に関するパンフレットを送ります。ぜひ、ご一読ください。

在宅緩和ケアの専門性を確立しよう

医療・介護保険委員会が活発に活動しています。2015年8月に厚労省へ「在宅緩和ケア支援診療所の制度化」を提言しました。また、「在宅ホスピス緩和ケアの基準」（2010年7月作成）の改訂作業を在宅ホスピス協会とともに進めています。今年は、わが国における在宅緩和ケアの専門性の確

立に向けて正念場の年となります。さらに、2018年度診療報酬・介護報酬同時改定に向けて提言をまとめるべく、アンケート調査の準備も開始しました。

ホスピス緩和ケアの専門教育を充実しよう

看護師教育支援委員会が取り組んでいる「専門的緩和ケア看護師教育プログラム（SPACE-N）」は2年目を迎えています。受講の希望者が多く、今年は2回実施することとし、東京と大阪で開催します。また、各支部では引き続きELNEC-J研修会の開催に取り組みます。また、多職種教育支援委員会およびMSW教育支援ワーキンググループは教育プログラム作りに取り組んでおり、その成果が待たれます。

2016年度年次大会に参加し活発に討論しよう

今年の年次大会は、2年に1度の役員改選と2018年度診療報酬・介護報酬同時改定に向けて当協会としての提言をまとめ、そしてホスピス緩和ケアの将来を討議する重要な年次大会です。年次大会としては、初めて大会テーマを掲げます。「専門緩和ケアの確立をめざして」です。専門緩和ケア（specialist palliative care）とは、緩和ケア専門家がプロ（profession）として提供する緩和ケアです。わたしたちの協会は、プロの緩和ケア専門家から成る団体として、質の高い専門緩和ケアを提供するために、その基盤を固めるとともに一層の飛躍をめざす年次大会にしたいと思います。どうぞご参加ください。

2016年度年次大会 開催スケジュールが決定!

テーマ 「専門緩和ケアの確立をめざして」

日時 2016年 7月17日(日)・18日(月・祝)

会場 東京ビッグサイト会議棟 (7階国際会議場・6階会議室)
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1 <http://www.bigsight.jp/>

1日目 7月17日(日)

▼総会 13:30~14:45

▼シンポジウム 15:00~17:30

「がん医療と緩和ケア：緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・在宅緩和ケアの役割」

- 1) 緩和ケア病棟の立場から
- 2) 緩和ケアチームの立場から
- 3) 在宅緩和ケアの立場から

▼懇親会 18:00~20:00

2日目 7月18日(月・祝)

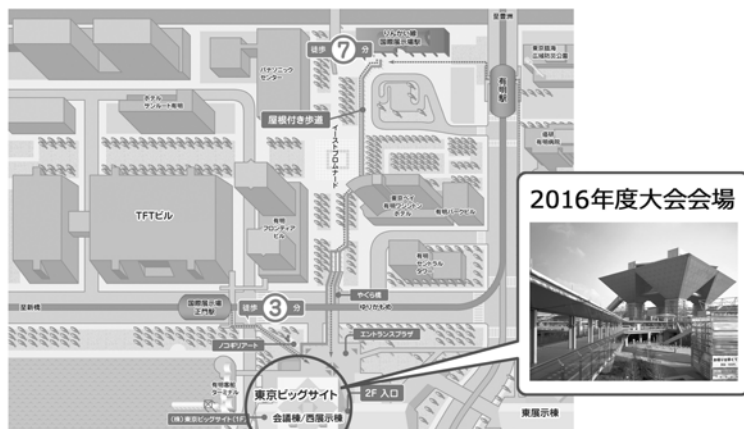
▼分科会 9:00~12:00

- 1) 「在宅緩和ケア支援診療所制度について」
- 2) 「新しくなった施設概要調査の集計結果および各施設での利活用について
ー協会は今後どういうデータを収集し、施設にフィードバックしていくべきか考えるー」
- 3) 「多職種教育プログラムの提案」
- 4) 「ELNEC-Jコアを基盤とした専門的緩和ケアを担う看護師の育成：
自施設(病棟・チーム)の教育計画をどう設定し実行するか」
- 5) 「認証制度のめざすもの」
- 6) 「緩和ケアの専門外来のあり方」

▼特別企画セミナー 13:00~16:00

- 1) 緩和ケア病棟運営管理者セミナー(※対象：緩和ケア病棟の運営管理者)
「在宅からの緊急入院・病院からの早期入院の要請にどう応えるかー緩和ケア病棟運営の工夫ー」
- 2) MSWセミナー「患者・家族の想いを繋ぐ連携とは
ーソーシャルワークの価値・倫理に基づく当事者主体の連携を考えるー」

【申し込み方法や各プログラムの詳細は、4月上旬にご案内いたします。なお、プログラムは変更となる可能性があります】



東京ビッグサイトへのアクセス

- りんかい線
「国際展示場駅」から徒歩7分
- ゆりかもめ
「国際展示場正門駅」から徒歩3分
- バス
都営バス 東京駅八重洲口(豊洲駅経由) → 東京ビッグサイト下車
空港バス 羽田空港→東京ビッグサイト下車
成田空港→東京ベイ有明リソソホテル
下車徒歩3分
- 駐車場完備(1日最大2,000円)

日本ホスピス緩和ケア協会では、「世界ホスピス緩和ケアデー(World Hospice and Palliative Care Day)」を最終日とした一週間(2015年度は10月4日～10日)を「ホスピス緩和ケア週間」とし、ポスターの掲示及びセミナーや見学会の実施などを通して、緩和ケアの啓発普及活動に取り組んでいます。

第10回目を迎えた本年もポスター・チラシを作成し、当協会の会員をはじめ、がん診療連携拠点病院、日本緩和医療学会会員など、全国のホスピス緩和ケア関係者に案内し、セミナーや見学会など、緩和ケアの普及啓発を目的とした企画開催を呼び掛けたところ、全国から116の企画登録がありました。

市民や医療関係者など約8,300名の参加(展示会の参加者は含まず)があり、企画を実施した施設からは「こうしたイベントが患者と家族のニーズに応えるものであると実感すると共に、参加したスタッフも患者、家族の声に励まされた」、また相談ブースを設けた施設からは、「日常から相談したくてもできなかった些細なことを気軽に相談できる良い会だと参加者から好評だった」などの報告が寄せられました。各企画の報告は、協会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

各地域の企画登録状況

合計112企画



[当日の様子]

各企画より提出された写真の一部をご紹介します。

北海道



緩和ケア市民公開講座
【釧路労災病院】

宮城県



がんサロンでの食事会
【地域緩和ケアあったかネット】

福島県



青空市でのハンドマッサージ
【星総合病院】

茨城県



パネル展示
【友愛記念病院】

埼玉県



屋外ヨガ
【石井医院】

千葉県



緩和ケア紹介ブース
【千葉徳洲会病院】

World hospice & palliative care day

世界のホスピス緩和ケアデー

2015年度の世界ホスピス緩和ケアデー（World Hospice and Palliative Care Day）は、「Hidden Lives/Hidden Patients」をテーマとして実施されました。

各国の企画の様子は、以下のホームページでご覧いただけます。

<http://www.thewhpc.org/world-hospice-and-palliative-care-day>



左上：イギリス、右上：インド、左下：ニュージーランド、右下：スリランカ
(緩和ケアデーに企画登録している各国の団体ウェブサイトの報告より)

神奈川県



三大学合同カンファレンス
【杏林大学・東京女子医科大学・帝京大学】

福井県



緩和ケア紹介セミナー
【公立丹南病院】

愛知県



リレー・フォー・ライフ ルミナリエ
【南生協病院】

滋賀県



ハレルヤ合唱
【滋賀県がん診療連携協議会】

和歌山県



緩和ケア病棟内覧会
【紀和病院】

兵庫県



医師によるヴァイオリン演奏会
【神戸協同病院】

岡山県



がん相談フェスタ
【岡山大学病院】

山口県



まちの保健室
【山口県看護協会 岩国支部】

高知県



市民対象の講演会
【もみのき病院】

福岡県



ホスピス病棟見学会
【聖マリア病院】

熊本県



緩和ケア・ピンクリボン推進イベント
【熊本赤十字病院】

宮崎県



緩和ケア教室
【宮崎県立宮崎病院】

沖縄県



栄養士による手作りスープの試食
【国立病院機構 沖縄病院】

企画内容

① 一般市民向けの講演会・フォーラム等	37
② 医療従事者向けのセミナー・研究会等	13
③ コンサート・演劇等	26
④ ホスピス緩和ケア関連のパネル展示	21
⑤ 緩和ケア相談コーナーの設置	44
⑥ チラシ・グッズ等の配付	34
⑦ 緩和ケア病棟の見学会	20
⑧ 音楽療法・マッサージ等の体験	27
⑨ ホスピス緩和ケアに関する動画の上映	15
⑩ お茶会・がんサロンの開催	14
⑪ 遺族会・他病棟との職員懇親会等	4

合計 255

※1つの登録企画内で複数のイベントを開催した場合はそれぞれをカウント

参加者内訳

一般市民／患者(入院・外来)／家族／遺族／学生(医学生・看護学生)／教員／医師／看護師／看護助手／薬剤師／臨床心理士／ソーシャルワーカー／カウンセラー／理学療法士／作業療法士／言語聴覚士／管理栄養士／ケアマネジャー／歯科医師／歯科衛生士／音楽療法士／介護福祉士／ヘルパー／事務員／牧師・僧侶／音楽家／ボランティア 他

合計：10,941名(展示会来場者は含まず)

企画参加施設種別

協会会員78施設 / 会員以外36施設	
協会会員内訳	【正会員】
	緩和ケア病棟 64
	緩和ケアチーム 5
	一般病院 5
	診療所 2
	【準会員・賛助会員】 2
会員以外内訳	日本緩和医療学会会員 22
	がん診療連携拠点病院 19
	学会会員・拠点病院 13
	不明(無記入) 6

※共催の場合は各施設を参加施設としてカウントし、複数の施設が1つの団体として主催している場合は、代表施設のみを参加施設とした

2016年度

世界ホスピス緩和ケアデー & ホスピス緩和ケア週間

2016年度の「ホスピス緩和ケア週間」は、10月8日(土)に予定されている「世界ホスピス緩和ケアデー」を最終日とした、**10月2日(日)～10月8日(土)**の一週間を予定しています。詳細については、8月頃にご案内いたしますが、皆様には引き続き「ホスピス緩和ケア週間」を通じた啓発・普及活動にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。



2015年12月5日、東京国際フォーラムにて、第21回理事会が開催されました。

最初に事務局より、2015年7月に行われた総会後の入退会状況とホスピス緩和ケア週間の実施状況を報告し、引き続き各専門委員会からの活動報告と、協会未入会施設への入会の働きかけについて話し合われました。

また、2016年度の年次大会プログラムの検討を行った他、役員改選、他団体との協働について話し合いが行われました。以下に、各委員会の活動状況をご報告いたします。

専門委員会活動

◆認証委員会

1. 緩和ケア病棟質向上の取り組みの認証制度

- ・スケジュールとしては、2016年11月の一ヶ月間申請を受け付け、2017年1月に申請をとりまとめたものを認証委員会で審議、2017年3月中に各施設に結果を通知し、一定期間の異議申し立てを受けた後、最終決定とする。
- ・周知方法は、2016年度の年次大会で認証制度に関する分科会を開く他、認証制度に関するパンフレットを製作し、認証制度の意義や目指すもの・スケジュール・Q&A・具体的な項目の解説を掲載する。
- ・第三者評価に関する項目として、各施設が自主的に行う遺族調査も対象とする方向で、遺族調査の基準案を作成する。

◆質のマネジメント委員会

1. 自施設評価共有プログラム

- ・2016年5月発行予定のニューズレターで予告を行い、2016年度年次大会でも、自施設評価共有プログラムの意義について説明をしたいと考えている。
- ・委員が所属する病院で過去3回行った自施設評価の結果報告によると、実施する毎に評価が上がってきている。また、他の会員施設からも、自施設評価の結果を受けて多職種カンファレンスの回数を増やしたなど、ケアの改善に繋がっているという報告を受けている。
- ・スケジュールとしては、2016年9月1日付で、会員へ自施設評価共有プログラムの関連書類を郵送し、後日メールでも配信する。返送締め切りは10月31日とする。

2. 緩和ケア病棟運営管理者セミナー

- ・7月に実施したセミナーのアンケート結果では、全体的に良いという評価が多いが、1/3の参加者から時間が長いという意見が出ている。また、同一施設のスタッフが同じグループになることについては、「良い」と「良くない」に意見が分かれているので、次回は別々にしたい。
- ・病棟運営管理者セミナーなので、なるべく緩和ケア病棟の運営管理に関するテーマを取り上げるべきではないかという意見が常任理事会からあり、2016年度は「在宅からの緊急入院・病院からの早期入院の要請にどう応えるか～緩和ケア病棟運営の工夫～」をテーマに予定している。前日までに入院予定がなかった患者さんの入院など、地域からの強い要請への応え方について考えたい。

3. 「緩和ケア病棟運営の手引き」の改訂

- ・昨年作成した緩和ケア病棟運営の手引きの追補版を

2016年度中に検討し配付できれば、他の施設の役に立つのではないかと考えている。追補版の内容は、まずは2016年度に行う運営管理者セミナーの「緊急入院・早期入院の要請に応える工夫」を取り上げることを予定している。

◆緩和ケアデータベース委員会

1. 緩和ケアデータベース委員会の今後の活動

- ・施設概要調査と遺族調査（J-HOPE）への協力を継続して実施していく。また、緩和医療の症例登録データベースの作成についても検討していく。
- ・緩和ケアに関する調査をネットから提出できる仕組みを確立したい。施設概要調査では、患者の入退院データを提出してもらっているが、患者がどのような状態で入院し、どのような状態で退院したかは、診療報酬や制度に関わる重要な情報と思うので、入れることができれば良いと思う。患者個人の臨床情報を全て登録をするようなレベルのデータベースは無理なので、まずは入退院情報についてしっかり把握する方向で考えている。

2. 協会としての遺族調査について

- ・会員施設より、認証制度の認証基準を満たすために、協会として遺族調査をやってほしいという意見があった。遺族調査はノウハウがないと、トラブルが起りやすいという問題がある。そこで、協会として遺族調査を実施した場合の参加意向調査を実施したところ、110施設から参加の意向があった。
- ・内43施設は既にJ-HOPE 3を受けた施設であったため、遺族調査の対象から外すか否かについて、費用・作業量なども含めて検討し、今回は認証制度推進のための特別措置であることから、J-HOPE 3に参加していない施設のみを対象とすることとなった。
- ・スケジュールは2016年2月に対象リストの確定、4月～6月に調査実施となる。経費については、郵送料などの実費を各施設の負担とし、その他の経費を協会負担とする。



◆多職種教育支援委員会

- ・具体的な活動の成果物はまだできていない。以前の教育研修委員会で行っていたようなワークショップ形式での教育支援をすることはまだ考えておらず、年次大会に向けてプログラムを作っていくと思っている。まずはロールプレイをブラッシュアップしたものを考えている。内容としては、チーム医療やチームビルディングに関するものという案が出ているが、更に検討していく。メーリングリストで意見交換しながら進めていく。

◆看護師教育支援委員会

1. 専門的緩和ケア看護師教育プログラム (SPACE-N)

- ・第2回・第3回のSPACE-Nを2015年9月から実施し、関東で30名、関西で29名が修了予定である。
- ・SPACE-Nの研修会は、対話形式のグループワークを行っており、どんなことをするのかという理解は参加者によって差があるが、2016年度はもう一度この形で開催したい。スケジュール等を考慮し、5月頃から募集を開始する予定である。

2. ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム (ELNEC-J)

- ・各支部の看護教育担当者の努力で受講修了者は増えており、現在1238名、緩和ケア病棟の看護師全体数の約25%となっている。ELNEC-Jコアカリキュラム指導者養成プログラムも開催したが、緩和ケア病棟の数が急激に増えている現状があり、約半数の116施設で指導者が不在という状況である。
- ・各施設でELNEC-Jを使ってどのように教育しているのか、教育が進まないのであれば要因はなにか。前回、看護師教育の現状調査を実施したのが2009年なので、2016年4月の施設概要調査の時に、看護師教育に関しても併せて調査を実施したい。

◆医療・介護保険委員会

- ・2018年4月の診療報酬・介護報酬の同時改訂に向けて、意見交換を進めている。2015年8月に厚労省へ「平成28年度診療報酬改定に向けた提言」を行った。在宅緩和ケアを専門に行っている診療所が評価されていない背景があることから、「在宅緩和ケア支援診療所の制度化」を提案する内容である。

- ・以前、在宅緩和ケアとはなにかという議論があり、協会で検討会を立ち上げて基準が作られた経緯があるが、日本在宅ホスピス協会でも川越氏を中心に作られた基準があり、これを統一しようということになった。両協会で作キンググループを作り、2月までに叩き台を作成する予定である。
- ・以前、緩和ケア病棟の30日以内の入院について、診療報酬が上がったことでもたらされた利益・不利益を検証する調査を実施したが、改定から時間がそれほど経っていない時期に実施したので、今回改めて連携・薬剤の使い方・人材育成をどうしているのかな等を調査したい。病棟だけでなく、チーム、診療所も対象とする予定である。

◆その他

緩和ケア診療所連絡協議会 (PCC) の患者登録調査引き継ぎについて

- ・PCCは、川越厚先生を中心に二十数施設の会員で活動していたが、2015年12月末で解散することになり、事業のひとつである患者登録調査を協会に引き継いでもらえないかとの依頼があった。
- ・これまでもPCC患者登録調査は、緩和ケアデータベース委員でもある東北大学の佐藤委員が、回収・集計を行っており、依頼元が協会になるだけで、作業的にはこれまでとあまり変わらないと思われる。
- ・検討の結果、今回は応急的な対応の面もあり、2016年4月はこれまでと変えない形で協会が実施することとなった。今後も継続して在宅緩和ケアのデータを協会が蓄積していくのか、別の団体に依頼するかは改めて検討する。



副理事長
田村 恵子

理事長
志真 泰夫

副理事長
石原 辰彦

ご案内

笹川記念保健協力財団

「ホスピス緩和ケアドクター研修助成」応募者募集のお知らせ

笹川記念保健協力財団では、毎年「ホスピス緩和ケアドクター研修」の候補者を募集しています。この事業は、2001年より開始し、これまで60名以上の医師を養成してきました。ホスピス緩和ケア病棟で1年間、ホスピス緩和ケアを学ぶことができます。対象者は、臨床経験5年以上で、本研修修了後、ホスピス緩和ケアに従事する事が条件となっています。助成金額等の詳細については財団ウェブサイトでご確認ください。

【研修をご希望の方は、下記までご連絡ください。ご相談にも応じています】

公益財団法人 笹川記念保健協力財団 医学医療部 中村・菅原
TEL : 03-6229-5390 (医学医療部) / Email : smhf_hospice@tnfb.jp



入会・施設基準届出受理施設について

2015年7月の総会以降、下記の通り入会がありましたので、ご報告致します。

- ★緩和ケア病棟入院届出受理施設
・一般病院、診療所

【正会員：新入会】

- ★札幌北楡病院（北海道札幌市）
- ★群馬県立がんセンター（群馬県太田市）
- ★千葉徳洲会病院（千葉県船橋市）
- ★甲南病院（兵庫県神戸市）
- ★米子医療センター（鳥取県米子市）
- ★潤和会記念病院（宮崎県宮崎市）
- ★鹿児島市医師会病院（鹿児島県鹿児島市）
・総合病院 土浦協同病院（茨城県土浦市）

【準会員：新入会】

- [法人] 牟田病院（福岡県福岡市）
宇治徳洲会病院（京都府宇治市）

- [個人] 矢野 和美（東京都）
- 井上 明美（東京都）
- 富岡 里江（東京都）
- 笠谷 美保（千葉県）
- 小澤 愛（神奈川県）
- 米丸 順子（宮崎県）
- 戸田 美音子（東京都）
- 濱本 千春（広島県）
- 小川 綾乃（神奈川県）
- 武田 ヒサ（大阪府）
- 武石 葉月（埼玉県）



会員動向 (2016年1月1日現在)

地域別	正会員				準会員			賛助会員			合計	
	病棟	チーム	一般病院	診療所	小計	法人	個人	小計	法人	個人		小計
北海道	16	3	2	2	23	2	5	7	0	3	3	33
東北	16	3	4	6	29	4	1	5	1	2	3	37
関東甲信越	75	23	15	23	136	8	33	41	8	15	23	200
東海北陸	36	3	4	3	46	0	7	7	0	4	4	57
近畿	46	7	5	7	65	4	8	12	1	4	5	82
中国	26	2	3	4	35	2	4	6	1	2	3	44
四国	16	1	3	1	21	2	1	3	0	1	1	25
九州	69	2	5	12	88	2	6	8	0	1	1	97
合計	300	44	41	58	443	24	65	89	11	32	43	575

ご寄付について

当協会では、協会の事業に賛同し、応援して下さる個人や団体からのご寄付を受け付けており、2015年1月以降、下記の方々よりご寄付をいただきました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

田中 巖様（東京都） 原 知克様（東京都）

なお、ご寄付の詳細につきましては、事務局までお問い合わせいただければ、関係資料をお送りいたします。直接お振込みいただく場合、振込先は下記の通りです。

【振込先】

三菱東京UFJ銀行 新富町支店
 口座：普通預金 3677396
 名義：日本ホスピス緩和ケア協会 理事長 志真泰夫

求人広告の掲載について

当協会では、ホスピス緩和ケアに携わるスタッフの充実をはかり、ケアの質の向上を目指すことを目的として、正会員施設の求人情報をホームページに掲載しています。

利用対象：日本ホスピス緩和ケア協会の正会員

掲載費用：無料

掲載期間：4ヶ月（但し期限以降も継続希望の連絡があれば、引き続き掲載）

利用方法：ホームページの会員専用ページから求人登録票をダウンロードし、必要事項を記載の上、協会事務局まで郵送して下さい。ダウンロードができない場合は、事務局までお問い合わせいただければ、登録票をお送りいたします。

調査ご協力をお願い

当協会では正会員を対象として、2月に診療報酬に関する調査と看護師教育の実態に関する調査（緩和ケア病棟のみ）、また4月に施設概要・利用状況に関するインターネット調査を実施予定です。ご協力下さいますようお願い申し上げます。

